

# *Annual Report*

**KANSAI MEDICAL UNIVERSITY TAKII HOSPITAL**  
**Unit of Peripheral Vascular Surgery,**  
**Department of Surgery**

**平成26年度 成績報告**

**関西医科大学附属滝井病院 末梢血管外科**

## 1. 手術統計

手術件数	284例
動脈手術件数	97例
①閉塞性動脈硬化症	47例/48肢
腸骨(大腿)－大腿動脈交差バイパス術	3肢
大腿－膝上膝窩動脈バイパス術	3肢
大腿－膝下膝窩動脈バイパス術	5肢
腸骨(大腿)－下腿動脈バイパス術	4肢
膝窩－足部動脈バイパス術	11肢
大腿－足部動脈バイパス術	1肢
鎖骨下－鎖骨下動脈バイパス術	1肢
膝窩－両側大腿動脈バイパス術	1肢
大腿動脈血栓内膜摘除術	5肢
グラフト修復術	6肢
閉塞グラフト血栓除去術	7肢
感染グラフト除去術	1肢
②急性動脈閉塞	4肢
下肢	4肢
③動脈瘤	28例/29肢
腹部大動脈瘤	22例
うちステントグラフト内挿術	14例
うち破裂例	4例

大腿動脈瘤	1例2肢
仮性上腕動脈瘤	1例
その他	4例
静脈手術件数	92例
①下肢静脈瘤	89例
大伏在静脈、不全交通枝結紮術	7例
静脈ストリッピング術	28例
血管内焼灼術	53例
血栓化静脈瘤摘出術	1例
②膝窩静脈外傷修復術	1例
③IVCフィルター留置術	2例
ブラッドアクセス手術件数	95例
内シャント造設術	79例
人工血管シャント造設術	5例
テシオカテーテル挿入術	1例
シャント閉鎖術	1例
シャント瘤修復術	2例
シャントPTA	3例
シャント血栓除去術	3例
止血術	1例

## 2. 手術成績

### 閉塞性動脈硬化症

- 手術死亡(術後30日以内) 0
- 病院死亡 1例  
60歳女性(膠原病、末期腎不全、HIT抗体陽性)進行する足部壊死に対し下腿動脈バイパス術を行ったが術中よりグラフトが閉塞し計4回の吻合のやり直しおよび血栓除去を行ったが開通させられなかった。後の精査で抗リン脂質抗体症候群と判明。下腿切断を施行したが全身状態悪化し術後5ヶ月目死亡。
- 早期バイパス閉塞 2例  
いずれも足部下腿動脈バイパス  
上記死亡例と、プロテインS欠損症で2度の修復術にても開通させられなかった例
- 術後早期下肢大切断 3例

上記閉塞、死亡例2例と、下腿動脈バイパス後グラフトは開存しているものの足部の血管床が少なく感染、壊死の進行した例

### 動脈瘤

- 手術死亡(術後30日以内) 2例  
待機手術で大量コレステロール血栓塞栓症を来した例、および術前血圧を維持できず心臓マッサージを行いながら緊急手術を試みた破裂例
- 病院死亡 1例  
緊急手術後誤嚥性肺炎を起こした破裂例
- 術後合併症 1例  
ステントグラフト術後肺炎(軽快退院)

### 静脈瘤

- 合併症 0

## 3. 血管内治療(放射線科と共同で施行) 41例

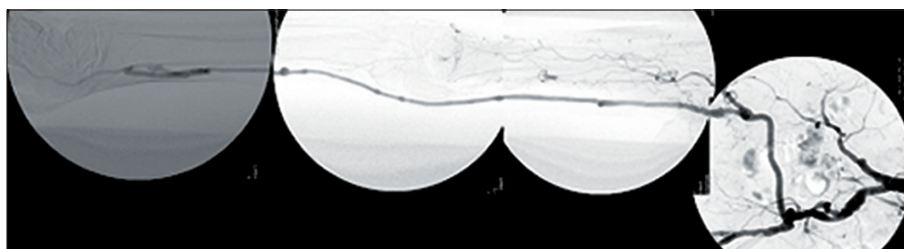
- 経皮的血管拡張術(+stent留置術) 35例  
死亡 0  
初期成功 100%

- coil塞栓術  
ステントグラフト前処置 6例

## 4. トピックス

### ①10年間開存した下腿動脈バイパスの3例

10年前、前任者(今村 敦先生)が施行した下腿動脈バイパスが急性閉塞し、修復術にて再開通した例があった。自家静脈で行うこのバイパス術は少ないながら長期開存が得られる方法であることが実証されたものである。術中採取した静脈グラフト片の組織学的検索でも遠隔期にもほぼ良好な血管壁構造が保たれていることを確認した。これ以外にも8年以上前に駒井が以前施行した下腿動脈バイパス術の2例がいまも外来通院してくれている。



### ②バージャー病に対する下腿動脈バイパスの1例

一般的にバージャー病は末梢病変であり、病因が血管炎であるためバイパス術の適応とならないものも多く、施行しても短期間で閉塞してしまうと言われているが当院で施行したバージャー病の女性に対する下腿動脈バイパス術は安静時痛が劇的に改善し術後9ヶ月の現在もグラフトは開存している。

### ③施設を超えた連携により救肢した広範囲足部壊死の1例

足関節付近の足背まで壊死が及んでいる症例に対し、通常なら下腿切断が妥当な症例であったが患者の希望が強く下腿動脈バイパス術を施行した。術後血流は改善したが壊死部の形成が困難であり、当院形成外科、皮膚科の了解のもと、創傷治療では全国的に有名な神戸大学形成外科 寺師浩人教授に紹介して足趾切断、断端形成を行っていただいた。6ヶ月の長期入院を要したが創は完全に治癒した。血行再建のみでは完治しないこのような症例に対し専門医のコラボレーションが奏功した一例であり、このような連携を今後も進めていきたい。



### ④関西医科大学枚方学舎にて「関西血管外科基本手技ビデオセミナー」主催

関西地区は末梢血管外科の教育システムがいずれの大学病院でも整っておらず、若手外科医が血管外科手技を学ぶ機会が少ないのが現状である。そこで唯一の末梢血管外科単独診療科の責任のもと、平成27年1月に「関西血管外科基本手技ビデオセミナー」を開催した。近畿地区の各大学病院、関連施設の協力を取り付け30歳前後の若手外科医31人が参加してセミナーは滞りなく終了した。参加者のアンケート調査によると非常に好評であり、次年度からも開催することを検討している。



### ⑤医局員増員

開設当初から駒井、山尾の2人で診療を続けてきたが平成26年10月より2人の中堅医師が当科に加わった。久留米大学より坂下英樹医師が、東北大学より深山紀幸医師が赴任したが、両人とも血管外科に特化して診療、研究を行ってきた者であるのでほぼひととおりの血管診療を行う実力がある。人員の余裕ができたから要望もあり枚方市の吉田病院に平成27年1月より山尾医師を派遣し、枚方地区の血管外科診療を行っている。



### ⑥ラジオ波による静脈瘤血管内焼灼術の導入

かねてから下肢静脈瘤治療にレーザーによるカテーテル焼灼術を行っていたが、当院に設置している第一世代の器機は術後の疼痛が問題となっていた。しかし平成27年より新しい世代のラジオ波による器機を導入したため術後の患者の疼痛が激減し、より低侵襲な静脈瘤治療が可能となっている。

### ⑦香里病院外来を毎週に

関西医科大学香里病院での月曜夕診が隔週であり、地域の連携医からのご紹介により患者数が増加してきたため、駒井、深山による毎週の診察を開始した。診療枠が増加したためより丁寧で確実な診療が可能となっている。

### 関西医科大学 香里病院(外来診療日程表)

◆ = 部長  
 ※受付時間：初診午前8時30分～午前11時30分・再診午前8時～午前11時30分 夕診午後5時～午後7時 平成27年8月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	土(第2,4を除く)	
外科	午前	【一般・大腸外来】 ◆吉田 良(初・再) 【化学療法外来】 神原達也(初・再)	【一般・上部外科外来】 神原達也(初・再)	【一般・大腸外来】 ◆吉田 良(初・再) 【一般外科外来】 岡崎 智(初・再)	【一般・上部外科外来】 金 成泰(初・再)	【一般・大腸外来】 ◆吉田 良(初・再) 【一般・上部外科外来】 金 成泰(初・再) 【化学療法外来】 岡崎 智(初・再)	【一般・上部外科外来】 金 成泰(初・再) (第3) 【一般・上部外科外来】 神原達也(初・再) (第1・5)
	夕診	【血管外来】 ◆駒井宏好(初・再) (第1・3・5) 深山紀幸(初・再) (第2・4)					

### ⑧当科駒井、日本血管外科学会理事に

平成26年10月の日本血管外科学会理事会において当科の駒井が理事に選出された。早速チーム医療推進委員会・委員長に命ぜられ理事長の命によりVascular Nurseの創設に力を注ぐこととなった。

## ★ 役員一覧

平成27年度 日本血管外科学会 役員名簿

#### 理事長

宮田哲郎

#### 会長

佐藤 紀

#### 理事

明石 英俊 東 信良 石橋 宏之 井元 清隆 大木 隆生  
 大北 裕 荻野 均 小櫃由樹生 國吉 幸男 駒井 宏好  
 古森 公浩 齋木 佳克 貞弘 光章 佐藤 紀 椎谷 紀彦  
 志水 秀行 末田泰二郎 種本 和雄 布川 雅雄 福田 幾夫  
 宮田 哲郎 宮本 裕治



## 5. 研 究

### ①論文

1. 駒井宏好 最新医学別冊 新しい診断と治療のABC 86 静脈血栓塞栓症 下肢静脈瘤 石丸 新編、第一章 静脈血栓塞栓症 静脈血栓症の予防52-9、最新医学社 大阪 2014
2. 駒井宏好 血栓症治療ガイドラインup-to-date 末梢血管、静脈血栓塞栓症(VTE/PE・DVT) ヨーロッパ心臓病学会特別作業班による、頭蓋外頸、椎骨動脈、腸間膜動脈、腎動脈、上肢・下肢動脈を含む末梢動脈疾患診断および治療ガイドライン 血栓と循環 22:175-78 2014
3. Komai H, Shindo S, Sato M, Ogino H. Reduced protein C activity might be associated with progression of peripheral arterial disease. Angiology 2014 Aug 12. [Epub ahead of print].

### ②学会発表その他

#### 【国際学会】

1. Komai H, Yamao J. Deep femoral artery as a target vessel of bypass surgery for severe ischemic legs. The 8th Conference of the German-Japanese Society of Vascular Surgery Karlsruhe.
2. Komai H. Vascular Surgery Live : symposium. Vascular Surgery for CFA Lesion in EVT era. Japan Endovascular treatment Conference 2015. Osaka.

#### 【総 会】

#### 特別演題

1. 駒井宏好 シンポジウム2 浅大腿動脈に対するIVR最前線 浅大腿動脈領域のIVR治療に必要な血管外科的知識 第43回日本IVR学会 奈良 2014
2. 駒井宏好 スポンサービデオライブ2 CLI 症例に対する Distal Bypassの実際 第6回日本下肢救済・足病学会 札幌 2014
3. 駒井宏好 シンポジウム4 疾患別にみたフットケア：ポイントは何か？ 閉塞性動脈硬化症のトータルフットケア

第13回日本フットケア学会 東京 2015

#### 一般演題

4. 山尾 順、駒井宏好、吉岡和彦、権 雅憲  
フットケアチームによる足病変の発見からバイパス術に至った重症虚血肢の一治験例  
第6回日本下肢救済・足病学会学術集会、札幌 2014
5. 山尾 順、駒井宏好、今村 敦  
下腿動脈バイパス長期開存例のin situ大伏在静脈グラフトの組織学的検討  
第55回日本脈管学会総会、倉敷 2014
6. 山尾 順、駒井宏好  
上腕動脈閉塞による手指広範囲組織欠損に対してバイパス手術が有効であった1例  
第45回日本心臓血管外科学会 京都 2015
7. 大久保縁、井上由美、寺西充子、川畑ユミ子、駒井宏好  
市民啓発活動「TAKE!ABI in KANSAI」へのフットケアチームの関わり  
第6回日本下肢救済・足病学会学術 札幌 2014
8. 大久保縁、川畑ユミ子、駒井宏好  
病棟看護師による入院患者全員を対象とした足病変早期発見システム「Takii Foot Scan」の評価と今後の課題  
第13回日本フットケア学会 東京 2015

#### 座 長

1. 駒井宏好  
一般演題11 ブラッドアクセス 1  
第14回日本静脈学会 名護 2014
2. 駒井宏好  
会長要望演題(9)重症虚血肢に対するチーム医療  
第42回日本血管外科学会 青森 2014
3. 駒井宏好  
パネルディスカッション2 膝下病変に対する治療(EVT VS Bypass)  
第55回日本脈管学会 倉敷 2014

4. 駒井宏好  
ポスターセッション 末梢血管  
第45回日本心臓血管外科学会 京都 2015

【地方会】

1. 山尾 順、駒井宏好  
上腕動脈閉塞による手指広範囲組織欠損に対してバイパス手術が有効であった1例  
第133回大阪血管外科同好会、大阪
2. 坂下英樹、山尾 順、深山紀幸、駒井宏好  
遠位バイパスを施行し安静時痛が改善したバージャー病の一例  
第134回大阪血管外科同好会、大阪
3. 坂下英樹、山尾 順、深山紀幸、駒井宏好  
外傷により上腕動脈に発症した動静脈瘻合併仮性動脈瘤  
第29回日本血管外科学会 近畿地方会、大阪

【講演】

- 駒井宏好
1. 大学病院新設診療科における静脈疾患診療  
第34回日本静脈学会 ランチョンセミナー5  
名護 2014.4.18
2. 明日からの診療に役立つ血管病の診断と治療  
第7回 寝屋川市医師会・香里病院 地域連携の会 教育講演 守口 2014.4.19
3. 『足の症状は我々にお任せ！』  
足の症状から知る血管病 歩行障害の総合的診断・治療 守口 2014.5.10
4. 適正なPAD治療を目指して 学会アンケートから見てきたもの  
第42回 日本血管外科学会 ランチョンセミナー13 青森 2014.5.23
5. 血管外科の診断と治療 up-to-date  
第183回加多乃会「勉強会」 枚方 2014.6.19
6. 閉塞性動脈硬化症の診断と治療—明日からの診療に役立つ早期発見のポイント—  
第8回上本町生活習慣病フォーラム 特別講演 大阪 2014.7.17
7. 足は動脈硬化の窓—動脈硬化性血管病早期発見

にむけて—

- 第6回済生会和歌山病院登録医総会 特別講演 和歌山 2014.7.26
8. 糖尿病、透析患者のQOL向上のための下肢病変診断・治療戦略…軽症から重症まで…  
第15回 大阪透析末梢循環障害研究会 特別講演 大阪 2014.10.16
9. 最新の大動脈、末梢血管治療  
第4回滝井循環器フォーラム 大阪 2014.10.18
10. 閉塞性動脈硬化症治療の原点 血管外科医の果たすべき役割  
第19回 紀南ハートカンファレンス 特別講演 田辺 2014.11.8
11. 明日からの診療に役立つ末梢血管疾患の診断と治療  
大阪府内科医会 定例学術講演 大阪 2014.11.26
12. 血管診療におけるコメディカル同士の交点と展望  
第2回関西CVT連絡会 吹田 2014.12.6
13. 閉塞性動脈硬化症早期発見に向けたシステム作り  
第6回近畿血管バイオメカニクスセミナー 吹田 2014.12.6
14. 血管疾患の治療 up-to-date  
大阪府医師会医学会 学術講演会 大阪 2014.12.13
15. 閉塞性動脈硬化症治療の原点…血管外科医の果たすべき役割…  
第12回 京都末梢循環障害検討会 特別演題 京都 2015.3.7
16. 静脈血栓塞栓症の基礎から最新治療まで  
北河内 Thrombosis Forum 2015 守口 2015.3.12

## あとがき

恒例の関西医科大学附属滝井病院末梢血管外科の年次報告が完成しました。地域の先生がたのご協力で就任二年目をむかえ、おかげさまで症例は順調に増加してまいりました。特に私の専門である下肢閉塞性動脈硬化症に対するバイパス術は軽症、重症に係らず各地からご紹介いただけるようになってまいりました。ある雑誌のランキングによると当科のバイパス手術数は本年度は僅差で関西地区で2位とのことでした。この調子で将来は近畿地方はもとより全国でもトップレベルをキープしてまいりたいと思います。また腹部大動脈瘤症例も絶対数はまだまだ少ないながら増加傾向にあります。これは就任当初からこの分野で頑張ってくれていた山尾先生に加え、10月から各名門大学血管外科で修練を重ねてきた坂下、深山両先生がメンバーに加わってくれたのが大きいと思っております。おかげで閉塞性動脈硬化症以外の手術はほとんど彼らに任せられるようになり、私はもっぱら学会関係の仕事や地域での連携構築、一般市民への啓発活動に力を注げるようになってきました。ただバイパス術の成績は明らかに前任地でのものより悪くなっております。これは私の手術手技の進歩のなさもさることながら初診時の状態が非常に悪い患者が当地区では多いことも一因です。血管外科の途絶えていた北河内地区、専門医の少ない関西地区での現状は想像以上であり、血管外科医の勲章であるグラフト開存率はさんざんたるものですが、一方で医局員とともに粘り強く治療を重ねているとバイパスは詰まってもなんとか急場をしのいで足が生きていけた症例もありました。この経験から閉塞性動脈硬化症の早期発見をシステムティックに行うことと、どんなに悪い血管でもあきらめずに可能な限りの手を尽くすことが重要であることがわかりました。症例数や開存率にこだわらずひとりひとりの患者の幸福度をあげられる治療を続けていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

関西医科大学附属滝井病院 末梢血管外科（文責 部長：駒井宏好）

滝井病院 2016 年 リニューアルオープン



**KANSAI MEDICAL UNIVERSITY TAKII HOSPITAL**